

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
成羽	P T A	成羽小、宇治小それぞれのP T Aの連携を図り、R 7年度以降の新しいP T Aの組織を決めるための合同の会をR 6年度中に市主導で実施してほしい。	備中中、成羽中の再編の際には、両校の校長、教頭、P T A役員、市教委でP T Aのあり方を含めて話し合った。重要なことなので、進めていきたい。	
高梁・落合	跡地	不要な施設は早く処分してほしい。	できるだけ早く処分できるよう努力したい。	
玉川	跡地	閉校後の校舎の使い方をどのように考えているか。	まずは地域の方、あるいは地域の周りの企業で利用される場合を検討していく。活用が見込めない場合は、更地にすることも検討する。	
松原	跡地	小学校、幼稚園が無くなり、地元にとっては寂しい話。残った学校をどうするか。 地元でも議題に上がりつつあるが、地元に守り（管理）をしるのは難しい。	何に使うかはまだ全く考えていない。 地域にとってプラスになるようなら、企業等に使ってもらえば良い。高倉小や布寄小の跡地利用がよい例。あるいは地元で色々なことに利用する。（湯野小は一部お試し住宅に変わっている。） 財源があれば更地にして、次の利用をしやすいような形にする。また、企業等から文科省の廃校プロジェクトを見て問い合わせもある。企業が来た時には働く人材を確保できる。大事なところなので、しっかり努力していきたい。	
松原	跡地	元松原中学校は今グラウンドだけとなっている。当時のまち協がドーム型にして、グラウンドゴルフ、ゲートボール、操法の練習に使うなどと言ったが、なぜできなかったのか。地域に活力がなくなったからそうなるのではないか。（意見）	跡地利用のアイデアがあれば、地域からもいただきたい。	
川上	跡地	学校をコミュニティ施設として活動することとなるだろうが、高山小の取り扱いはどうなるのか。体育館は使えない状況。校舎の活用について市長部局と協議してほしい。川上中の施設はどうか。	高山小はH1 5年4月1日に休校、H2 2年4月1日に廃校となっている。学校施設の跡地利用については、地元で活用、企業や福祉団体等に活用してもらうことが考えられるが最終的に解体もある。	
高梁・落合	跡地（避難所）	閉校後、避難所として役割はどうなるのか。	閉校後も避難所となっている施設はある。施設がなくなる場合は関係部署と協議のうえ検討していく。	
津川	跡地（避難所）	廃校となった学校に避難できるのか。	廃校が避難所になっているところはある。定期的に整備させてもらっており、どうするかについては今後検討していく。	
玉川	跡地（避難所）	校舎の利用を企業等という話もあったが、避難所になっているので閉校後の利用については協議が必要だと考えている。	他に避難所がない場合は、配慮したい。	
松原	跡地（避難所）	避難所はどうなるのか。 豪雨災害の時に松原も被害を受け、外に出て行けなかった。消防団はいるが消防車も救急車も上がってこられない状態になった。	学校では今1人1台端末を使っているが、防災用のW i - F iを学校に設置してある。 確かに学校は避難場所としては頑丈であるし、W i - F i等機能も充実している。工夫していきたい。 防災部局との協議となるが、例えば備中中の体育館のように避難所として活用している例もある。 代わりになる場所があれば指定するし、無ければ何とかする。	
川上	アンケート	アンケートの賛成・反対数は公表されるのか。 反対票が大多数であれば計画がなくなる可能性もあるのか。	アンケート結果は公表する。 大多数の反対ということなら皆さんの意見に沿っていないということになるので、問題があればその部分を変えることになると思う。今回のアンケートは意見を少しでもいただきたいという趣旨で行っている。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
川上	アンケート	アンケートはこの場に来ている人の意見のみであり、来ていない人の意見はどうやって集めるのか。	基本的には今日の説明を聞いた上でのご意見いただきたいと考えたアンケートである。それ以外の意見をいただく努力はしていきたい。	
川上	アンケート	反対が多ければ検討するということが、地域全体の意見ならよいが、今日の参加者の意見のみをとらえて検討委員会にかけないでほしい。 PTAの意見を聞かないと大変なことになる。 いろいろ考えて進めてほしい。	市民全体に意見を聞くことは難しい。説明会での意見はHPに掲載する。それについてパブリックコメントをいただくことなどではあるかもしれない。 準備委員会では、多くの保護者、地域の方に加わっていただきながら、詳細について話をするので、より多くの意見を聞きたいと考えている。	
川上	安全対策	川上中を成羽中に再編という計画は、災害時における安全面を考えると不安である。成羽中は川のそばで増水時の川を渡らないといけない。安全ではないのでは？	成羽中は防災マップでも危険箇所とはされていない。水害の危険性が予測される場合、例えば道路閉鎖前に下校する等早めの対策をしている。	
川上	安全対策	再編のことをメディアで初めて知って子どもが混乱している。災害時成羽中へ迎えに行くのが怖かったという声を聞いた。実際に安全に迎えに行けるのか。	成羽中は避難所に指定されているが、道中の安全についての不安があることはわかる。準備委員会で、ケースを挙げながら対応策を検討する必要がある。	
高梁・落合	意見聴取会	各地域で出た意見をホームページに掲載してほしい。	ホームページに掲載する。	
津川	意見聴取会	この会での意見を知りたい。	ホームページに掲載する。	
玉川	意見聴取会	意見聴取会で出た意見を広報誌等でお知らせしてほしい。	ホームページに掲載する。	
高梁・落合	意見聴取会	子供の保護者など当事者が参加しやすい告知や工夫をしたのか。	学校・園を通じてお知らせしているが、私立の保育園と未入园児の保護者には直接お知らせできていなかった。	
巨瀬	意見聴取会	開催の通知が遅い。 意見を求めるには期間が短すぎる。	期間が短い中での開催については大変申し訳なかったが、平成30年に一定の基準は出ている。学校が残るよう回を重ね検討してきたが、出生数が少ないことがわかってきたため、もう一度基準について考えているところ。ご理解いただきたい。	
川上	意見聴取会	PTAに情報が伝わっていないのではないかと。今後学校ごとにPTAの意見を聞いて方向性を考えてほしい。	HPや園小中学校、町内会の回覧等を通じてお知らせした。準備委員会では、保護者を含めて詳細な話し合いを行う。説明会の結果内容は発信し、総合教育会議や検討委員会へかけていく。	
津川	意見聴取会	対象者別にこの会は開催されるのか。	今回のみである。	
津川	意見聴取会	次回はいつ開催されるか。保護者も児童も不安が大きい。	次の段階は準備委員会となる。再度意見聴取会の開催を希望される場合は、地域の要望として、学校を通してでも教育委員会へ直接でも提出してもらいたい。	
川面	意見聴取会	またこのような会が開かれるのか。	意見聴取会は各地域で開催する。今回のみと考えている。	
巨瀬	意見聴取会	巨瀬地域の説明会は1回限りか。	各地域の意見を伺い、検討委員会で再度検討し計画を立てる。再編については、準備委員会を設置し地域や保護者の皆さんと検討していくことになる。	
高梁・落合	意見聴取会	アンケート用紙を配って、幅広い意見を聞いてほしい。	次回から取り組みたい。	
津川	意見聴取会	この会について、説明が長い。グループワークした後意見を出し合うなど会のあり方を考えるべきである。		
川面	意見聴取会	意見聴取会はしないといけないから開催しただけなのか。	総合的に判断するため皆さんの意見を聞いている。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
巨瀬	意見聴取会	本日検討委員会委員は何名来られているか。 設置要綱には「委員が意見聴取を求めることができる」とあるのに、委員がいないのは、事務局が代わりに意見を聞き、委員会に上げるといったことなのか。	基本的には委員としての参加は求めている。 検討委員会が必要があれば、意見を伺うことにしているが、既に検討委員会が皆さんの意見を伺い、新たに配置計画を作成していくこととしている。	
巨瀬	意見聴取会	個人的な考えだが、意見を聞いてくれる場ではなく、教育委員会が敷いたレールにみんなで乗れと言われているように感じるが、どうか。	あくまで報告内容について、よりスムーズにいくよう皆さんにお聞きし、場合によっては制度を変えることまで考えなければならぬ。そういうことを判断するために今日来させていただいている。	
巨瀬	意見聴取会	巨瀬幼稚園が休園する際の説明会では保護者の意見は考慮してもらえなかった。今回の意見聴取会では、それぞれの地域ごとにいろいろな意見を聞いてもらいたい。	巨瀬幼稚園は、地域の声を伺い1年休園を伸ばした経緯がある。今後、再編で閉校になるところも出てくるが、子供たちの思いをしっかりと大事に受け止めながら進めていきたいと思っている。	
川上	意見聴取会	地域に学校がなくなることは大きいことである。人前で声を出せない人もいると思うので、やり方を考えてほしい。	会の中で話ができない場合もあると考え、アンケート用紙を配っている。	
高梁・落合	移住定住	教育委員会の適正配置に関する取組と市の移住・定住の取組がちぐはぐで一貫性がないのでは。	ご指摘は十分理解しているが、今回は子供たちにとって何が一番いいのかを考えた計画。	
川面	移住定住	学校のないところへは移住者は定住しない。地域としても学校を拠点に活動をして来たので、地域の繋がりは学校が一つのキープポイントだと思う。 閉校になった校舎等は今後どうするのか教えてほしい。	今回の配置計画案については、10年先のことも見据えている。 今の時点では廃校後の校舎や土地についてお答えできないが、跡地活用の意見を聞く機会があると思う。	
津川	有漢学園	有漢に予算をかけ義務教育学校を開校するが、どうなるか分からないのはどうなのか。	平成30年に地域からの要望により準備委員会が設置され、協議の結果義務教育学校設立となった。 通学区域は、有漢と再編後の巨瀬、中井を指定し、届出により有漢学園の通学区域以外のどこからでも有漢学園に就学学校変更ができるよう考えている。	
巨瀬	有漢学園	有漢学園は残るのか。令和17年を見ると今説明された限界が来ると思うが、どう考えているか。	有漢学園は、市内どこからでも通学できる制度で進めている。 中長期的な学校のあり方については協議検討が必要であることも記載しているが、9年間の特性を生かした教育課程の編成や義務教育学校としての魅力をPRしていきたい。	
中井	有漢学園	少子化のため統廃合は仕方がない。有漢義務教育学校はどこまで存続していくと想定しているのか。義務教育学校なので再編しないのか。有漢学園の制服はブレザーと聞いているがどうなるのか。	有漢学園は今回の適正配置の対象としない。9年間を見通した特色を維持していきたい。目指す教育が維持できない状況がある場合は検討していく可能性もある。 再編に係る学用品の補助はしていく。必要最低限のものをそろえられるように制度の変更の検討はしている。	
有漢	有漢学園	有漢学園のPRができていない。市教委が先頭に立って進めていくべきである。	ホームページを立ち上げるように計画している。その他4月までには実施したい。保育園留学の小学校版も検討している。	
津川	学童	統合先校で学童保育の受け入れは可能か。	できるようにしていく。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
中井	学童	学童保育はどこを利用できるのか。有漢の場合、送迎はどうなるのか。長期休業中はどうなるのか。	学童について、非常に大きな課題である。小学校が14校から4～6校に減ると学童のニーズを満たせない。学童へ通うための補助の可能性もある。中井で学童か、有漢で学童か、その場合の送迎はどうするのか等、利用者のデメリットにならないようこども未来課とも協議を進めている。	
有漢	学童	現在の学童の部屋では狭いのではないかな。	学童のあり方については、関係部局と協議を行っていく。	
川上	学童	スクールバスで成羽まで通学した場合、学童保育は成羽まで迎えに行く必要があるのか。学童と連携したスクールバスの運行等準備委員会で検討されるのだと思うが、そういう点が不安である。	学童については、市として考えなければいけない。関係課とも話し合いを進める。準備委員会でもしっかり検討していく。	
巨瀬	学用品	再編により制服等が変わると思うが、再編に合わせた制服等を事前に購入することは可能か。	再編の準備委員会で制服等の補助金についても検討する。例えば、制服は再編先の学校で着てもいいようなできるだけ負担がないように補助金も含めて検討していくので、検討の結果により全く駄目ということではない。	
川上	学用品	これまで買っていた自転車や制服等はどうなるのか。	通学費や学用品の補助について、市として考えている。準備委員会でも検討していく。	
津川	学区	津川小と川面小を一旦統合してはどうか。	子どもの負担を考え、再編を繰り返さないという1つの視点でこの計画となっている。	
川面	学区	川面小は高梁小学校、高梁中学校で決定なのか。	子供たちや保護者の負担を考え、再編を繰り返さないという1つの視点でこの計画が示されている	
宇治	学区	統合先は、中学校はまだ高梁北中へ行くのに、一旦川面小へ統合ではいけないのか。	子どもの教育環境の最適化を第一と考えるとともに、再編を繰り返すことがないようにということから、川面小の場合は統合の可能性があるため。	
津川	学区	中井は、北房小の方が近い。地元から北房小へという要望が出た場合はどうするのか。	西山を新見に委託した例もある。	
川面	学区	有漢はどうなるのか	市内唯一の義務教育学校であり、市内全域からの通学は可能。ただし、再編基準となれば再編対象となる。	
川面	学区	有漢義務教育学校への再編は考えていなかったのか。	距離や通学時間等を考慮してこの計画としている。	
川面	学区	宇治が成羽と統合される。いままでの3校合同の意味は。	子どもたちの視野を広げる、友達を増やすという点では意味がある。再編に当たり通学距離や時間は大きなポイントだった。	
中井	学区	これまで中井小は川面と交流してきた。川面小の児童数を見てみると、まだ存続するのになぜ川面小ではいけないのか。有漢学園は決定か。	中井小が有漢学園へというのは、通学条件を考慮しているためである。川面小と再編しても、いずれ高梁小へ再編される。中井から高梁小へ通うのは遠距離となる。「変えることはできないか。」ということについて「柔軟に」とあるように準備委員会で検討、調整していく。R12年度までは川面小があるので、ここまでなら届出により川面小へ通うことも可能と考える。	
中井	学区	子どもの数が減っているなので、統合は仕方がない。中井は、宇治や川面と交流している。知っている子がいるところへ行けると思っていたのに、知らない学校に行くことになると不安が大きい。仕方がないことだが、決まる前に、保護者や地域に相談がなかったのか。	地域の意見を聞いて計画を策定する。計画が策定されても、準備委員会で詳細について検討、協議する。北中、東中については、学校が分かれてしまうことで、子どもたちが不安になることも考えている。例えば、R7年4月から、高梁小学校と再編する松原小では、今年度から交流会を行っている。来年度はさらに回数を増やす計画である。子どもたちの負担軽減に向けて考えていきたい。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
巨瀬	学区	子どもが2人いる。上の子は1年間だけ東中に行って、2年生から有漢に行くことになる。 最初から新しい学校へ行くとか、各家庭や学校の実情に応じ選択できるようにしてもらいたい。	1年間だけでも、現状では高梁東中学校に通っていただく。2年生で再編ということになるが、制服の変更など経済的な部分については、しっかりと支援したい。再編前には、対象校同士で交流活動を行い、子供たちに不安のないようにしていきたい。 (補足説明) 有漢学園は、市内全域から就学できるよう考えているので、原則は高梁東中学校だが届け出により有漢学園に就学が可能となるよう進めている。	
津川	学区	統合が決まれば事前に統合先校への入学は可能か。	統合前の学校の運営が厳しくなるため、現在の学区校への就学が大前提である。	
津川	学区	統合による環境変化へのフォロー、例えば統合がわかっているのであれば、統合前に1年生が高梁小に入学するという選択肢は、考えられているのか。	統合がわかっている状況でも、一旦は今指定している学校に行ってもらえるのが基本で、統合前に入学する学校の変更を認めると、津川小学校の人数がぐっと減り、学校運営が非常に厳しくなることが想定される。	
巨瀬	学区	統合前の就学学校変更や津川の友達と一緒に高梁中学校へ就学するなどいろいろな配慮をしてもらえるか。	統廃合という特殊な要因があるので、第1学区と第2学区を届け出で選べるようにとか、最終学年の異動とか、いろんな仕組みの中で工夫し、様々な選択肢を考えていきたい。	
巨瀬	学区	中学校は、子供のことを一番に考えると、子供自身に学校の様子を見てもらったりして有漢がいいのか、高中がいいのか、部活動のことも考えて選べる方法ができればいいと思う。	学区が分かれる中学校には、就学後変更できる地区を指定したり、他の地区の意見も踏まえながら総合的に検討したいと思う。	
巨瀬	学区	中井は、異論がなければ有漢へ再編されるのか、それとも津々地域は有漢に西方地域は川面および高梁ということも考えられたか。それから津川の八川は有漢に近く、今津は高梁に近いのでそういうことを考えられたか。	中井町の入江、丑手地区は、現在川面小学校区なので、川面小学校に通っている中井町の子については、就学学校変更が可能。他にもこの地区はこっちの方が近いというところは出てくると思うので、いただいた意見をもとに細かい調整が必要だと思っている。	
玉川	学区	就学する学校は、準備委員会で検討すれば、高梁小学校と落合小学校を選択できるか。	玉川小学校区は、現在も一部の地域では高梁と落合を選択することができる。今回の案では玉川地区全体を高梁小学校に指定し、届出により落合小学校も選択できるよう考えている。	
玉川	学区	もし玉川の学区が落合になった場合、届出により高梁にもいけるようになるか。	可能性としては考えられる。	
福地	学区	再編先が成羽となっている。高梁にはならないのか。	通学距離・時間等を考慮しての計画としている。	
川上	学区	就学学校変更は、どのくらいの期間で変更が可能か。	新入学の場合は、1月に入学通知書を送付するのでそれを受けて申請していただいている。随時受け付けている。	
津川	学区	区割り再考の余地があるか。	計画案を優先的に考えてほしい。	
川面	学区	第二学区への届け出はハードルが高いのか。	合理的な理由等により判断することとなる。	
中井	学区	子どもたちひとりひとりがどう考えているのか、どこの学校に行きたいと思っているのかを一番に考え、アンケートをとるなど意見を聞いた方がよい。	予想外の再編先で、不安があることもよくわかっている。子どもの気持ちを大切にしていきたい。準備委員会で、子どもたちへのアンケートを実施した例もある。	
高梁・落合	基準	新しい基準は、30年の基準に全校で14人以下を加えたもので、複式で3学級でも全校で15人いれば存続するというものでよいのか。	新しい基準で小学校は2学級だけでなく14人以下になる場合も再編の対象とし、中学校は今までどおりの基準とすることの報告。	
高梁・落合	基準	旧基準は小規模特認校にも適用するのはなぜか。	小規模特認校は配慮すべき事項として新基準は適用しない。ただし、2学級になれば校長と担任2名で学校運営をしなければならずデメリットの方が大きい。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
高梁・落合	教育施策	学区が広がるとふるさと学習はどうしていくのか。	(後述)	
高梁・落合	教育施策	ふるさと教育はある程度小さい方がやりやすいと思うが、今後どう進めていくのか。	再編によって地域も広がるので、学校から離れた地域の学習については、移動手段等の支援をしていく必要があると思う。	
高梁・落合	教育施策	メリットを最大化する方法はもう考えないのか。	デメリットをデメリットとしない取組とあわせて、メリットを生かしていく取組を進めてきた。今後再編が進む中でも、子供たちに必要な力を考えながら学校教育を進めていきたい。	
高梁・落合	教育施策	他の自治体のように、午後は全部探究学習をすとか、イエナプランの学校をつくるとか、振り切ったことをやってみるという検討はあったのか。	今まで同じことをしては駄目だと思う。振り切ったことができるかわからないが、他とは違うことにチャレンジするくらいの気概で取り組んでいきたい。	
津川	教育施策	児童数が増えるだけで少人数のデメリットが解消できるのか。先生のフォローもしてあげてほしい。		
川面	教育施策	今までどのような学校教育をしてきたのか。	学校継続に向け、ICTや学校交流等をしてきた。	
中井	教育施策	この再編で困るのは子どもや保護者である。サポート体制を本気で言い、心理的にもサポートしてもらいたい。 有漢学園に再編されても、100人未満の学校となる。南部の大規模の学校にも負けない教育をしてほしい。本気で取り組んでほしい。	言われたとおりしっかりやりたい。有漢学園は義務教育学校で、校長は1人、9年間を見通した教育を行う。小学校でも、中学校の教科担当が授業を持つ体制もできる。9学年の学年を越えた多様な交流ができる。市内唯一の義務教育学校ということで魅力的な学校づくりの準備を進めている。市内どこからでも就学学校変更により希望があれば届出により入学できる。	
福地	教育施策	留学制度を小学校にもできないのか。	前向きに検討している。	
川上	教育施策	川上町に学校がなくなれば川上町の人口が増えないのではないかと懸念している。移住しても学校がなければ子育て世代を呼び込むのは難しい。岐阜県では、山県方式と呼ばれる学校統合をせずに少人数でも交流の機会を設ける取組をしている。学校を1つにせずに行っていく方法もある。そういう考え方は今後取り入れていくことはできるのか。 できるだけ川上町から学校をなくさないようにしてほしい。	山県方式は他地区にもあり、高梁市もICTを活用した交流等頑張ってきたが、それを上回るペースでの子どもの減少となっている。同級生が1～2人で学校生活を送るのか、20分程度移動してある程度の規模の学校で過ごすのか、それぞれの考え方がある。皆さんの意見を聞いて参考にしていきたい。	
高梁・落合	計画	切磋琢磨が小規模校では困難とするデータはあるか。	小さい学校だから大きい学校だからというデータは示せないが、他者としてしっかり対話をしながら課題を解決していく力がこれから時代を生き抜くためには必要だと言われている。そういったことを小学校・中学校で身につけていくためには一定の人数が必要だと考えている。  高梁の学力調査の特徴としては、応用問題等で多様に考えて自分たちで工夫して解かなくてはいけない問題は非常に弱い傾向がある。	
高梁・落合	計画	子供たちの課題をどのように捉えているか。	子供に手をかけすぎている側面があるのではないか。	
宇治	計画	再編を繰り返すというのは、いつまでの期間で繰り返すことを想定しているか。	現時点では、令和15年度末までの想定である。	
有漢	計画	適正配置検討の際の中長期的とはどのくらいの期間を見ているのか。	中長期的が具体的に何年と示されてはいない。有漢学園については、行ってみたいと思われるような魅力的な学校づくりに取り組んでいく必要がある。	
高梁・落合	計画	意見聴取後の適正配置計画はどの程度のレベルになるのか。1年違いで同じ学校に統合する場合も見られるので、時期をそろえた方がよいのではないか。	令和12年以降については、推計であるため確定ではないが、中学校については検討していきたい。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
津川	計画	適正配置計画は来年度か。	今年度中に策定する。	
巨瀬	計画	再編の時期にバサッと切るのではなく、在学生在その中学校を卒業できるようなことは考えたのか？ 子どものために、例外があって良いのではないか。	そこは考えていない。そうすると教員数が減って授業が成り立たなくなり、その方が子ども達にとってはデメリットとなる状況が出てくると考える。 教員数は法において決められており、我々に「例外」を作る権限はない。教員が少なくなるというのは逆に子ども達にとって良くないことである。	
玉川	計画	適正配置計画の策定に向けて、今後のスケジュールについて教えてほしい。	意見聴取会の意見を取りまとめ、教育委員会で必要な見直しを行い、検討委員会で協議の上、最終的には教育委員会で決定する。	
巨瀬	計画	生徒の立場であれば3年生最後の1年、別々の学校に行けというのはかなりつらいと思う。 子どもの気持ちを考えた編制ではないと感じる。	現状をベースに10年先を見据えた中で、子供の数のこともあるが、通学の負担等も考慮し検討していただいた。子供たちが新しい学校に通うときに少しでも通学の負担を解消したい。今までの再編でスクールバスでも一時間かかる生徒たちもいた。通学条件を一つの支援として検討した内容となっている。	
巨瀬	計画	この計画は既定路線で、案のとおり進めるということか。	必要な修正は行いたいと思っているので、いろいろなご意見を伺いたい。	
巨瀬	計画	1市2郡に中学校を配置するという話があったが、市に1つという検討はしたのか。	通学距離が大きな問題で、備中町西山から高梁までスクールバスだと1時間20分ぐらいかかると思う。郡市に一枚ずつ小・中学校は残していきたい。	
福地	計画	学校を存続できる方策・案はあるのか。	30年の答申によりできるだけ学校を存続させる方向で考えていたが、ここまで出生数が減少するとは想定していなかった。	
福地	計画	子どもの学校への満足度が反映されていない。学区についても時間や距離だけで決定しているように思う。	今後の子ども達のことを考えて決定している。	
川上	計画	有漢学園のように、小中一貫の学校を川上地域に作れないか。医療や教育がなくなると地域が消滅する。有漢方式を考えてほしい。	有漢学園の場合、R元年に地域からの要望で検討組織が立ち上がり、R7年度開校となっている。当時ある程度の人数を維持できると想定していた。すぐに川上地域で導入するか回答はできない。	
川上	計画	適正配置計画案が先にメディアに出た経緯を教えてください。	報告書は決定事項ではなく案として検討委員会から市教委に提出されたものである。その場面を報道された。報告書が提出された後、その内容について各地域への丁寧な説明を実施する流れであった。	
川上	計画	再編は案ということで、住民から意見を聞いているという段階か。	意見はまとめてHP等で公開する。意見をもとに検討委員会で話し合い、3月末に適正配置計画を策定する。	
川上	計画	特別支援教育は小規模校の方が向いていると思う。 成羽中に再編の場合、島木川の増水が危険なので道路を広げてほしい。 地域の学校を残してほしいという意見が多ければ残せるのか。再編ありきに聞こえる。	仮に残すなら中学校より小学校の方と考える。中学生年代には多様な人との関わりが重要であり、小学校から限られた人間関係の中で過ごしていくことが本当によいのか、身近にあるのがよいのかということとのせめぎ合い。統合となれば通学や学習環境等を整える。地域に学校を残すという強い希望は準備委員会で議論していくことになる。	
川上	計画	まちづくり、定住施策をどう進めるのか。適正配置計画は今後議会にかけられるのか。	適正配置計画は最終的に教育委員会にかける。計画の運用に向けて、準備委員会で丁寧に検討していく。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
川上	計画	ぜひ学校とPTAの意見交換をしながら進めてほしい。再編計画について議会への対応をどうするのか。	議会へは、統合、廃校に係る条例変更について諮る。適正配置計画については教育委員会や総合教育会議にかける。議会への説明は行うが、議決扱いには当たらない。	
津川	検討委員会	津川の保護者が検討委員会委員でなかったのはなぜか。	保護者と地域の方どちらかで、津川は地域の方であった。	
津川	検討委員会	検討委員会委員は、誰が選んだのか。	地域の方は市民センター、保護者は学校である。	
川上	検討委員会	検討委員会の委員には子育て世代の人がいるのか。	全小学校区ごとに保護者か地域の代表者に委員として入っていただいている。川上地域は、PTAの代表者に入っている。	
巨瀬	検討委員会	8月29日に検討委員会が開かれて、答申までに何回会が開かれたのか。また、この4ヶ月間で何ができたのか。その中で議事録的なものはあるのか。	検討委員会は、3回開催した。そこで検討された結果をもとに、教育委員会で皆さんの意見を伺い、配置計画を作成している。議事録的なものはないが、その報告書の内容について検討委員会からいただいた内容を皆さまにお伝えするという考えでこの会を開催している。	
玉川	検討委員会	前回の審議会と今回の委員会の開催回数を教えてほしい。	前回の審議会は全部で15回で、その内7回が意見聴取会。今回の委員会は、今のところ3回開催している。審議会では再編に関する基準を最初から協議していただいた。委員会では審議会の基準をもとに必要な見直しを行っていただいた。	
川面	交流会	宇治と成羽の交流はしているのか。	今後進めていく。	
川面	交流会	統合予定の学校とは現在交流をしていない。早めに交流の場を設けてほしい。	子どもたちの不安がないよう再編を進めていきたい。	
有漢	交流会	統合に向けて、今からでも児童生徒の交流が必要ではないのか。	統合が決まった時点で、交流を積極的に進めていく。PTA同士の交流も考えていく必要がある。	
成羽	交流会	学校間の交流の充実について具体策があるのか。こども園段階での交流の具体案があるのか。	現段階で何回交流会を行う等決めている訳ではない。松原小と高梁小の再編の場合は、今年度2、3学期に各1回交流会を行う。来年度も授業や行事で交流を行う予定である。子どもたちが不安にならないよう配慮していく。こども園は学区がないので必ずしも同じ小学校へ行くとは限らないが、一緒に就学する子に対して交流が必要とも感じている。	
備中	交流会	統合は親、子供ともに不安が生じると思う。統合前に体験入学のようなものを考えられていると思うが、何日程度実施されるのか。	事前の学校間交流の内容については、学校や準備委員会等で検討していくことになるが、少しでも不安が解消できるよう交流を行っていきたい。	
備中	交流会	成羽中学校と川上中学校の統合を見据え、現在行っている成羽小学校、富家小学校の交流に川上小学校を含めた交流が必要ではないか。	どういった形での交流がよいのか、各学校とともに検討して行く必要がある。	
高梁・落合	財政	財政的な問題についても説明があればいいのではないか。	財政的な問題もあるが、一番には高梁市の目指す教育ができる環境を整えることに重点を置いて適正配置計画や再編の基準を考えている。	
松原	再編	今日この計画案を聞いて、既に遅かった、松原幼稚園が無くなる時点で考えておくべきだったと感じた。松原小学校6名が高小へ行く。いじめや通学の苦労を考えると、もっとまとまった人数がいる時に統合させてやりたかった。（意見）		



会場	テーマ	内 容	回 答	備考
福地	再編	再編の対象とならなければ継続の考え方でよいのか。また、市教委からの準備委員会の設置を促すことがあるのか。	よい。急激な人数の変更が見込まれれば設置を促す場合がある。	
福地	再編	統廃合を進める一方で有漢義務教育学校を建設している。矛盾しているのではないか。	地域性等も考慮して統廃合の計画を策定している。	
川面	市の施策	計画的なものはよくわかる。過疎化になるから、親は総社の方へ行く人が非常に多いんじゃないかと思う。まず親がどういう環境にあるのか把握してもらって、子供を学校にやるのは親なので、親の気持ちはある程度察してもらいたい。 地域でいろいろと懇談されると思うが、広く吟味され、それでこういう結果になるようならしょうがないという案を出していただきたいと思う。	十分保護者等の意見も聞きながら、実施計画を策定したいと思う。	
津川	市の施策	市内に産婦人科がないことが、大きな理由ではないか。	コロナで出生数減もある。未婚が多いので、婚姻を増やす施策を取っていく。産める場所などの検討をしていく。	
川面	市の施策	少子化対策をどうしてきたのか。	医療費の無償化、ベビーファースト、幼稚園留学等様々な施策を実施してきた。それでも子どもが減少している。	
川面	市の施策	おむつを出すことが少子化対策なのか。	企業誘致等の全体的な施策も必要であるが、子どものための施策も必要である。	
川面	市の施策	大学、備北バスへの補助額は	大学に1億円、バスに数千万円だったと思う。	
中井	市の施策	町内会も維持できない状況なので、再編はやむを得ない。ただ、小学校の校舎が空いてしまい、子どもを中心に据えた町づくりをしてきた中で、今回の再編はマイナス要因になり、地域をどう活性化していくのか、真剣に考えてほしい。中長期的に明るいビジョン、政策を示して行政を進めてほしい。	統廃合は厳しいものであることは承知している。出生数80人台という状況の中、今よりもよい環境のために再編は必要であると考えている。デメリットについて真剣に考えていく。最終的に小学校4校、中学校3校の体制の中でも地域と学校のコミュニティの強化が必要である。 適正配置について、市長部局も関心をもっており、市長部局と協議をしていく。	
有漢	市の施策	教育だけでなく、市全体での取組が必要。ビジョンが見えない。	部署を超えた市全体での協議を進めていく。	
川上	市の施策	子どもの減少と学校再編を考えると同時に人口を増やすことも考えることが必要だ。人口を増やす施策があるのか。 市として今後努力していくということか。	市として、ベビーファーストや企業誘致、住宅等の取組を行っているが、現段階では成果が出ていないのが実際である。人口減少に対する取組は市政全体の問題として、各部局で統一的に検討していく。 令和6年度の新事業も含め、教育関係では幼稚園留学、小規模特認校、義務教育学校等教育の充実を図り努力を続けていく。	
宇治	就学前	宇治幼が休園となる時、なぜ成羽の園に行くことにしなかったのか。成羽小に行くことになるのであれば、川面幼にしなればよかったのに。	宇治幼が休園となる時は、成羽小へということが想定出来なかったため。	
津川	出生数	出生数の減少理由を分析したのか。	分析はしていない。令和4年に100人を切ったことが転換点となった。	
玉川	出生数	前の審議会で答申されてから5、6年で子供の数が急激に減った原因はなにか。	全体の人口、若い夫婦の減少、未婚率の増加により子供も減るとい流れと、人口減少に対する政策がきちんとできていなかったことなど原因はいろいろあると思う。	
高梁・落合	準備委員会	中学校は、令和8年度末で再編という計画がでているが、再編準備委員会は設置済みか。その地域の保護者の意見は。	新しい基準では準備委員会を再編の2年前から設置する。地域の意見は今後順次伺っていく。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
川面	準備委員会	再編の準備委員会ができた時点でごり押しとなるのか。	計画という点では進めていくが、詳細は準備委員会の中で検討していくこととなる。	
中井	準備委員会	令和7年度までは中井小はあるということか。そうすると、令和6年4月には準備委員会を立ち上げるということか。	令和7年度までは中井小は必ずある。準備委員会を2年前に設置したのは、複式解消を行うための加配教員をつけるためであり、令和8年度よりはやく再編を進めることはできない。準備委員会については、実施計画が策定された後令和6年度に立ち上げる。今現在は進んでいない。	
玉川	準備委員会	最終決定が教育委員会と言われたが、その対象になるときの児童や保護者の意見を聞いたうえでの決定になるのか。	最終決定というのは、適正な配置計画として通学方法や学区の特例など全体の計画になる。具体的にそれぞれの学校が統廃合となれば、準部委員会を設置して計画を中心に協議を行い、必要であれば修正を加えていく。	
川上	準備委員会	適正配置計画の策定後具体的なことは準備委員会で議論していくのか。準備委員会は2・3年前から議論が始まるのか。	準備委員会では各再編について細かく議論していく。時期や再編先、PTA組織、通学方法、学用品等について、教員保護者を含めたメンバーで検討していく。実際に3年間で状況が変わることもあるため、2年前と変更した。複式解消のためには最低2年間必要である。	
高梁・落合	小規模特認校	小規模特認校の成果は。	令和2年度から福地小学校、令和4年度から玉川小学校を指定。現在玉川小の制度利用はないが、福地小は制度利用者がいない年もあるが、1名から2名の就学者がいる。	
高梁・落合	小規模特認校	新たに小規模特認校は指定しないと言われたが、他の学校でも努力と知恵を出し合って存続させてほしい。	小規模特認校を増やすことで場合によっては子供の取り扱いになりかねない。	
巨瀬	小規模特認校	仮に玉川に行きたいとなった時に、親が連れて行かないといけないのか？	申請をしていただく上でいくつかチェック項目があり、その中に「保護者の責任のもとで通学させます。」という項目がある。福地小学校の児童の半数近くが本制度を利用した子どもであり、現在は保護者の送迎となっている。	
玉川	小規模特認校	小規模特認校について、教育委員会としてどう考えているのか。	小規模特認校は必要だから指定している。ただ、学校運営の限界については2クラスになるときだと考えているので、そこで線引きをしている。	
玉川	小規模特認校	小規模特認校の実績について教えてください。	玉川小学校では制度の利用はないが、福地小学校は、令和5年度の児童数15人中4割程度が制度を利用している。	
福地	小規模特認校	市内の学校等へ小規模特認校のPRはしているのか。	一定のPRはしている。	
福地	小規模特認校	福地小学校の案内をされなかった。市でPRをしてほしい。	PRをしていきたいと考えている。	
高梁・落合	その他	今日参加している高校生の意見を聞きたい。	《高校生の意見》 ・高校の総合的な探究の時間に市内の小学校で授業をした際、学年の子が1人だったので友達とのコミュニケーションや会話は大事だし、1人だとデメリットは避けられないと思った。3人のクラスを担当した友達は、3人なら会話もできて、一緒にアドバイスしたり、みんなで考えたりすることができて、いい授業ができたと言っていた。 ・閉校後の跡地について有効活用をしてほしい。 ・場所とか文化としての学校より、友達がいたり充実した教育が受けられた方がいいと思うので、適正配置をした方がいいと思った。	
高梁・落合	その他	学校のトイレの洋式化を進めてほしい。	財源を確保しつつ計画的に進めている。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
玉川	その他	本当に学校を存続させたいのであれば、私たち自身がまず一步踏み出す、そのために知恵を出し合い、話し合い、CSを活用することが大事である。私たちこそ頑張らなくてはならないと、いろんな学校や制度を勉強するにつけ、つくづくそう思う。		
福地	その他	国の基準により先生の数等は決まっているが、市独自で配置はできないのか。	国の基準等もあり、難しい部分もある。	
福地	その他	小規模校だからできることがあると思う。今日の聴取会に保護者は全員参加している。教育委員会へ相談できるような場が欲しい。	こども教育課が窓口になる。	
川上	地域	統合することで地域は広がるが子どもが減少したら、川上町での交流ができなくなるのではないかと不安。	例えば、高梁北中の地域学習では、川面、中井、宇治を学習の場として設定している。新しい中学校でどんな取組をしていくのか、子どもたちに必要な取組を市教委として助言していく。	
備中	地域	今は地域のことを学習する機会がある。とてもいいことだと感じており、統合後も地域のことを学んでほしいと思う。	地域学習は大切なことだと考えている。統合後の学校でそれぞれの地元地域の課題解決活動に取り組んだ事例もあり、こうした活動を広げていくことも取り組みの一つと考える。	
高梁・落合	地域	CSの推進について、学校がなくなる地域との連携をどうしていくのか。	再編されたそれぞれの地域から委員として入ってもらい、会の中身や子供たちとの関りを新たに構築していく。	
津川	地域	統合はやむを得ないと思うが、学校園は地域にとっては活力である。統合後は、地域で地域を盛り上げていくしかないと思っている。		
津川	地域	地域と希薄になるのではないかと。「計画策定にあたって留意したいこと」の具体的なものが見えてくると、保護者も地域も動ける。留意だけでなく、実行してほしい。	学童は、津川に下校後か高梁でかを十分に検討する必要がある。地域は、社会教育課が中心となって強化する必要があると考えている。統合先のコミュニティスクールには、統合元地域の委員も加わることとなる。	
中井	地域	自分は中井中学校最後の卒業で、前回の中井中の再編の時の検証、地域にもたらしたことを反映したのか。	地域から学校がなくなることはとても寂しいことである。今後地域をどうやって活性化させていくか、子どもたちをどう連携していくか、新たに考えていく必要がある。子ども、保護者、地域のためにもスムーズな再編が大切で、柔軟な対応を準備委員会で検討し、子どもたちによかったと言ってもらえる再編にしたい。	
有漢	地域	地域として有漢だけでなく、中井や巨瀬の魅力も発信していきたい。大人にとっても魅力ある地域になる必要がある。	市役所の部署が総力をあげていく必要がある。CSの予算も活用してほしい。	
川上	地域	地域との交流は川上小でよくできている。再編について意見を言ってもどうなるか分からない。今日も子どもがいる家庭は参加できていない。 定住施策は中心部はよくても、周辺地域は空き家が目立つ。子どもを最優先というが、合併がよいのか、小規模校でも地域と交流ができた方がよいと思う。こういう意見にも耳を傾け、中山間地域の過疎地のことも考えてほしい。	地域との関わりの中で、子どもたちが育っていくことは大切である。学校はなくても地域には子どもたちはいる。視点を変えて今より違うことを考えていきたい。	
川上	地域	地域から学校がなくなることの不安がある。地域とともにある学校づくりをしてほしい。	地域や学校のあり方も発想を変えていく必要がある。成羽中に再編の場合、成羽以外にも川上、備中もCS委員に入るなどして一緒に地域として考えていく。	
川面	通学	有漢東小学校へのスクールバスは一時的なものか。	義務教育学校の開校までである。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
福地	通学	有漢東小学校へのスクールバスは一時的なものか。	義務教育学校の開校までである。	
有漢	通学	中井小と巨瀬小の児童の通学方法は徒歩なのか。	公共交通機関のない場合、スクールバスの運行を検討する。	
有漢	通学	巨瀬地区から通学で、登校時は良い時間帯のバスはない。下校時はあるが、どうするのか。	巨瀬地区からは登校時スクールバスの利用が考えられる。帰りについては、準備委員会での話し合いになると考えられる。	
津川	通学	路線バスが走っているが、スクールバスにならないか。	今ここでスクールバスについて言及できないが、基本的に路線バスを利用する方向で考えている。詳細は準備委員会で協議される。公共交通から考えていき、より合理的で安全が確保でき、時間的に短縮できるようなところを選んでいく。個別の状況も加味し、例えば備北バスに高梁駅からもう少し高小に近いところまで行けないか交渉をすとか、通学の方法を確保する努力はしていきたいと思う。	
津川	通学	市内で最も遠い通学はどこであるか。	平川地域から成羽中へが一番遠い。	
川面	通学	スクールバス等や公共交通について	詳細なことは準備委員会で協議をしていくことになる。公共交通機関を使用する場合は定期代の補助がある。	
川面	通学	中井から有漢・川面への希望している人数の把握はしているのか	現時点では把握していない。	
川面	通学	市外から引っ越してきた。合理的に人数だけで統廃合となると小規模校から人数の多い学校へ行った場合、不登校となる場合もある。倉敷や岡山にはない学校の魅力づくりが必要では。	準備委員会の中で交流等についても検討していく。	
川面	通学	統廃合について10年先延ばしすれば定住や地域活性の活動ができる時間ができるのではないか。	意見聴取会での意見も踏まえ考えていきたい。	
中井	通学	定期バスではなくスクールバスをきちんと整備してほしい。それがないと本当の意味の再編にならない。	スクールバスについて、中井から有漢でスクールバスを想定している。	
中井	通学	共働き等で家に誰もいない家庭もある。スクールバスが各家庭まで行って乗せるということも考えないのか。	スクールバスについても、準備委員会で意見を出して、保護者、地域、教育委員会で協議していきたい。	
中井	通学	低学年の子が長時間乗車するのは心配である。スクールバスは、ワゴン車も想定しているのか。1台で回ると時間がかかるので、例えば軽自動車でもよいので複数の車両で回ってどの家庭からも時間差がないようにしてくれるのか。	ワンボックスかマイクロバスにするか想定していない。家庭をすべて回ると時間がかかるので、ある程度集合場所を設けるなど準備委員会で検討したい。ルートや人数を把握し、それによってバスの大きさも変わってくる。軽自動車でも台数を増やすとその分運転手が必要であり、確保が難しいかもしれない。妥協点はどこか協議していきたい。	
中井	通学	有漢との話ばかり考えてしまうが、川面小、高梁中へ届出すれば通学はどうなるのか。今年始め、北中への路線バスが小さくて全員が座れなかった。	就学学校変更に係る通学費用については、今現在補助している。今後補助額についても検討していく。川面小があるまでは就学学校変更と考えているが、その先高梁小へというのは想定していない。子どもの負担も考えていかないといけない。路線バスがあるところに、スクールバスを設置することは難しい。教育委員会だけの判断ではできない。有漢方面へのバスは（高梁駅発の通学時間帯のものも含めて）ないので、スクールバスを想定している。	
玉川	通学	通学手段の説明をしてほしい。	基本的な考え方として遠距離の場合、公共交通機関を一番に考えている。地域によっては生活福祉バスや既存のスクールバスも考慮したうえで、それがない場合はスクールバスの新ルートを設定する。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
玉川	通学	電車で通学する場合、交通費はどうなるか。	遠距離通学補助金で定期代を全額補助する。	
玉川	通学	小学校1年生が電車で通学するとしたら、歩く距離もかなりあるので他の通学手段も検討してもらえないか。	再編準備委員会を設置しなければならない状況になったら、協議のうえでより良い方法を見つけていきたいと思う。	
玉川	通学	第1学区が落合で第2学区が高梁の場合、落合へはスクールバスが出て、高梁へは出ないか。	今現在は、再編にともない公共交通機関がない場合にスクールバスを出して、就学学校変更の届出による場合は出していない。その代わりにスクールバスが出ない場合でも遠距離通学補助金で対応している。再編の検討が必要になったときは改めて準備委員会で検討していただくことになる。	
松原	通学	教育委員会だけで考えるのではなく、観光課や、市民課の公共交通の担当と一緒に考えてもらいたい。 例えば吹屋へ行きやすくなるような交通形態にするなど。子どもは減ったが観光客が増え活力となるような計画を立ててもらいたい。	各地域でも通学手段と子どもの居場所について意見が出た。松原小は無くなっても学童があれば、早く帰ってきた時にそこで待ち、親が迎えに来ることができる等考えられる。 通学の問題についても市民課や、こども未来課等、子どもの生活に大きな影響を与えるところとはしっかり連携し、全市で考えていきたい。	
成羽	通学	路線バス、スクールバスの設定についてどこまで詳細に考えているのか。以前スクールバスで不具合があった（イレギュラーの対応が決まっていなかった）。詳細が決まっていなくて不安である。 再編と通学手段は切り離して考えてはいけない。	松原小の場合、路線バス利用に決定している。準備委員会で通学手段や時間を話し合う。不測の事態の可能性や小さい子の乗車についての不安があるのは当然である。安全で安心な通学を保障するために、詳細な対応を確実に進めていきたい。 スクールバスについては、①利用者の家を効率的に回るコースと②一番遠い家からスタートすることの2点がポイントになる。学校、市教委、運行会社、保護者で、トラブルに対するマニュアルはその都度見直していく。	
成羽	通学	宇治のスクールバスは、今走っている吹屋便を使うのか。それとも新たに1路線設置するのか。 利用する保護者の考えも聞きながら決めてほしい。	両方の可能性があると考えている。宇治の中でも川面小に近い児童は川面小に通学できるのではないかと考えている。通学する学校が確定したら、準備委員会で考えていく。イメージとしては、新たに1路線必要な感じである。 利用者の保護者の考えも聞きながら進めていきたい。	
川上	通学	通学距離4～6kmとあるが、川上町は距離的にそれ以上ある。どこを基準にしているのか。	4km、6kmの基準はあるが、実際にはそれ以上になる場合もある。通学時間1時間未満になるように、一人ずつの場合を丁寧に確認していく必要がある。	
川上	通学	川上中へ通うのにも時間がかかる。バス停からも遠い。成羽中へ通うことを考えると、さらに遅い時間の帰宅となる。大型バスでなくても家の近くまで来るなど、今のバス路線を考えてほしい。	成羽中へ通うことになっても、今よりも帰宅時間が遅くならないよう配慮する。準備委員会で、バスの出し方等検討していく。	
備中	通学	新たに小学校が統合となった場合、スクールバス路線の変更が生じ、結果、現在よりも通学時間が長くなるといったことが生じるか。	詳細については、準備委員会が設置された後に、その中で細部にわたり協議していくことになる。	
川上	特別支援教育	12月の報道で初めて知ってびっくりした。現在川上中には特別支援学級が設置されていない。そのことは保護者に周知されていないようだ。今後特別支援学級に入学を希望する生徒は、川上中に特別支援学級ができなければ他校へ就学する状況だが、再編に伴う激変緩和措置を市や県で対応してほしい。	特別支援学級の設置要望は県内でも多いが、予算や人員の関係で全て要望通りかなっている訳ではない。県の設置基準は、対象児童生徒が3人以上となっている。特別支援学級が設置できない場合、他の学校へ就学するか、市費の支援員での対応となる。市としてできることとして、県への要求や市費支援員の配置等努力していきたい。	

会場	テーマ	内 容	回 答	備考
川上	特別支援教育	特別支援学級に入級するために学区外の他校へ行くとなれば、通学、送迎の負担、不安が大きい。再編先の学校で特別支援学級の人数が増えても、安心して通えるように配慮してほしい。	特別支援教育の重要性は年々上がっている。その目標は、専門的な知識をもった教員の指導のもとで子どもたちが社会で生きていける力をつけていくことだと考えている。高梁市では支援学級を設置し人員を配置するだけでなく、教員の専門性を高めることも重視している。実際には小規模校の学級設置は厳しいところもある。統合先の学校に支援学級が設置されている場合も多い。今後も教員の専門性向上に向けた努力をしていきたい。	
川上	特別支援教育	特別支援教育は、落ち着いた環境で少人数でできている。統合先の支援学級が人数が多ければ慣れるまで不安である。	環境に対して慣れていくために、事前の交流活動を充実させるなどして丁寧に準備を進めていきたい。	
津川	部活動	部活動はどうなるのか。	今後検討の一つとしていく。	
中井	部活動	部活動の外部移行についてどう考えているのか。	部活動について、吉備国際大学との連携をはじめとして、地域の方と協力していき進めていきたい。	